# 9 SRSエアバッグ


取り扱い，作業上の注意……9－2
取り扱い，作業上の注意……9－2
部品配置図……9－2
ステアリングホイールパッド……9－3
準備品……9－3
脱着構成図……9－3
ステアリングホイールパッド取りはずし……9－3
ステアリングホイールパッド点検……9－4
ステアリングホイール点検……9－4
ステアリングホイールパッド取り付け……9－4
エアバッグ
(ステアリングホイールパッド)廃却…9－5
準備品……9－5
エアバッグ廃却時の注意……9－5
ステアリングホイールパッド廃却……9－6




無断複製禁止

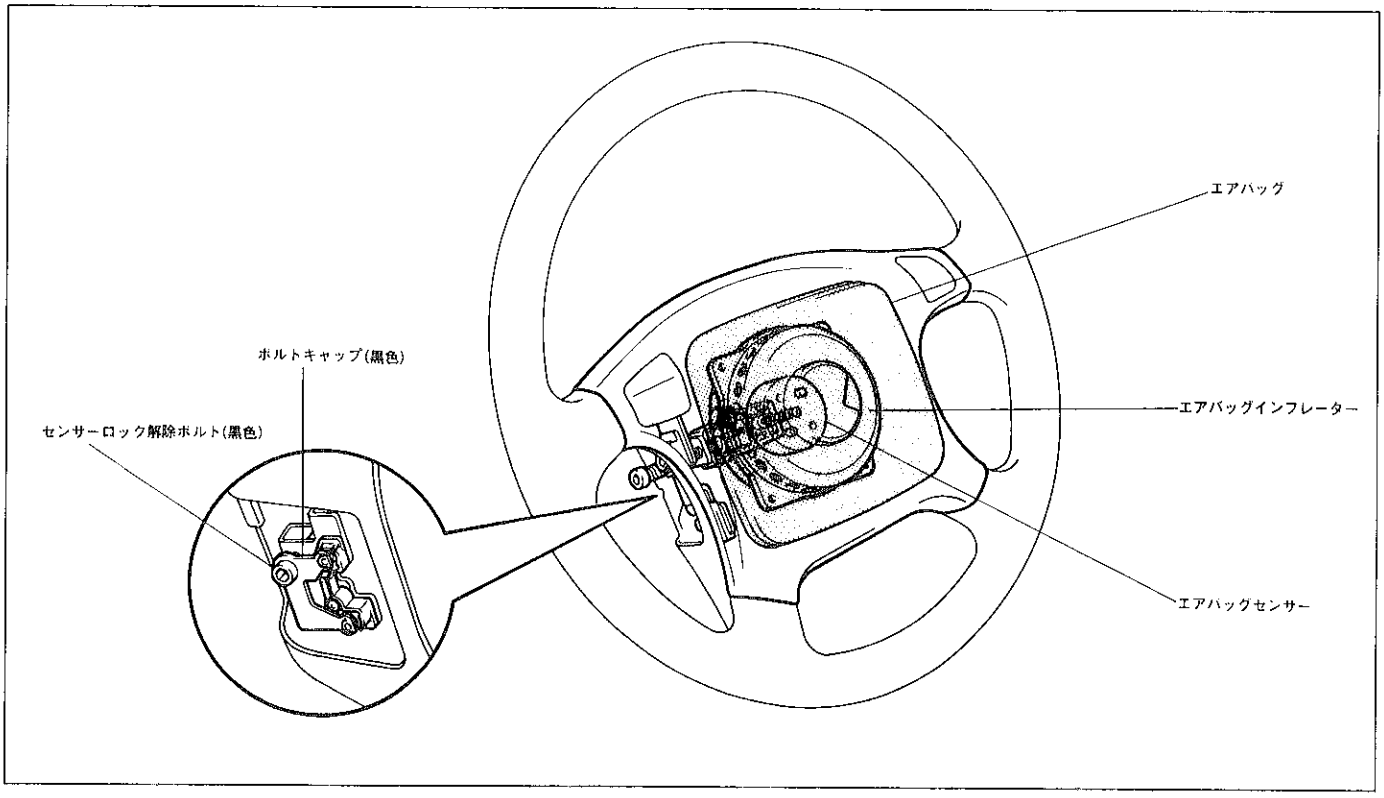
# 取り扱い，作業上の注意

エアバッグシステムは正しい手順，方法で作業しないと，作業中に誤作動するおそれがあります。また，間違った修理を行うと，必要なときに作動しない可能性があります。エアバッグシステムの脱着，点検，交換などは本書に記載された正しい手順，方法で作業を行ってください。

## 取り扱い，作業上の注意

1 ステアリングホイールパッドは絶対に分解しない。
2 ステアリングホイールパッドに衝撃を与えたり磁石を近づけたりしない。
3 ステアリングホイールパッドを高熱や火気にさらさない。
4 ステアリングホイールパッドにグリース，洗浄剤，オイル，水などが付着した場合は，乾いた布等ですみやかに拭き取る。
5 ステアリングホイールパッドを落下させない。また，落下させたステアリングホイールパッドは絶対に使用しない。
6 ステアリングホイールおよびパッドを他の車両には絶対に使用しない。
7 ステアリングホイールパッドを取りはずした場合は，平坦な安定した場所に保管する。また，パッド面を上にして置き，絶対に物を上に置かない。
8 車両に過度の衝撃が加わる作業を行う場合は，センサーロック解除ボルトを空転するまで緩めセンサーロックを作動させてから作業を行う。
9 エアバッグが未展開の軽衝突時でも必ずパッド面およびエアバッグセンサー部を点検し，へこみ，割れ，変形などが見られる場合は，新品と交換する。
10 車両またはステアリングホイールパッドを廃却する場合は，必ずエアバッグを展開させる。
11 展開したステアリングホイールパッド内インフレーターは高温になっているため，廃却は展開後30分大気冷却してから行う。絶対に水などをかけない。

## 部品配置図

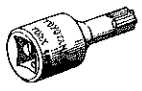



AD0253

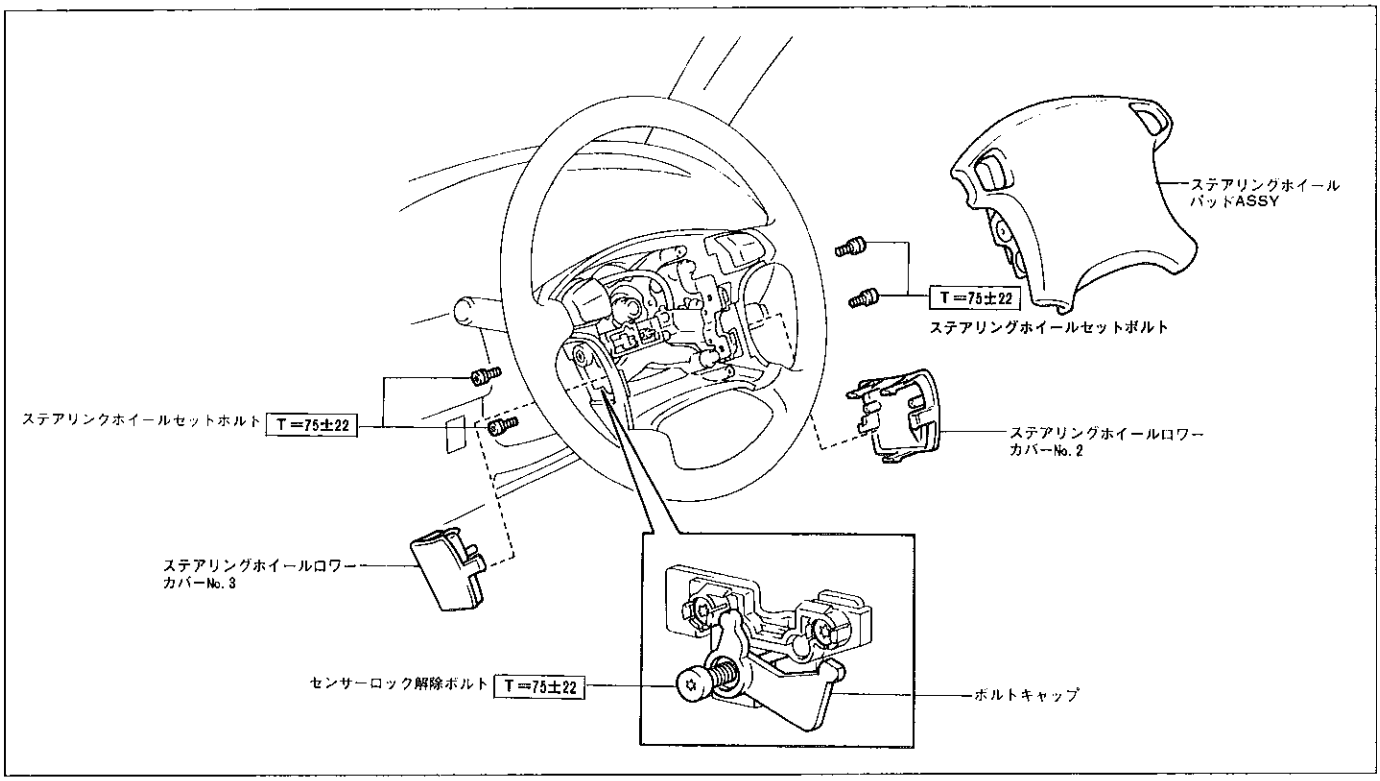
無断複製禁止

# ステアリングホイールパッド

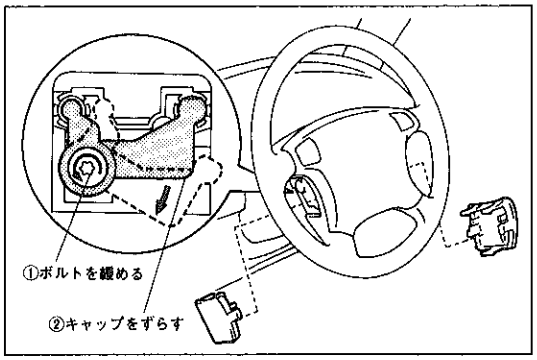
## 準　備　品

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工　具 |  | 09042-00010　トルクスソケットレンチT30 | ステアリングホイールパッド脱着用 |

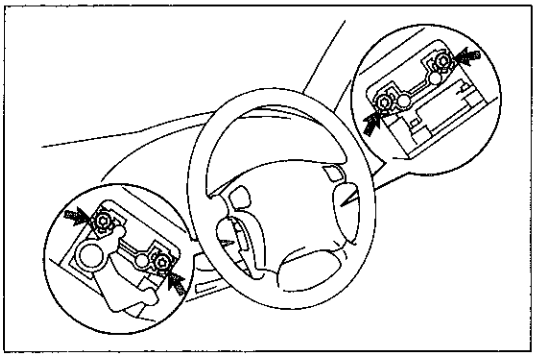
## 脱着構成図




X0808




X0809



X0796

## ステアリングホイールパッド取りはずし

**注意**　作業時などパッドを取りはずした場合は，必ず平坦な安定した場所に保管する。また，パッド面を上にして置き絶対に物を上に置かない。

1　ステアリングホイールパッド取りはずし

(1)　ステアリングホイールロワーカバー2個を取りはずす。

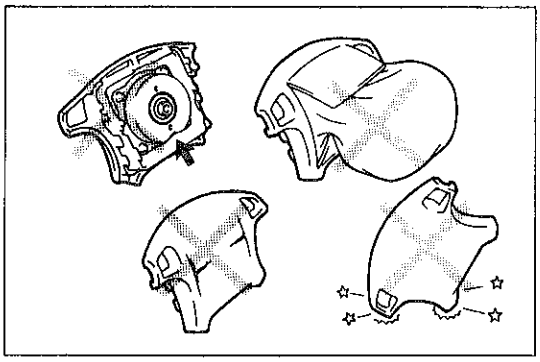
(2)　トルクスソケットレンチT30を使用して，センサーロック解除ボルトを空転するまで緩め，ボルトキャップをずらす。

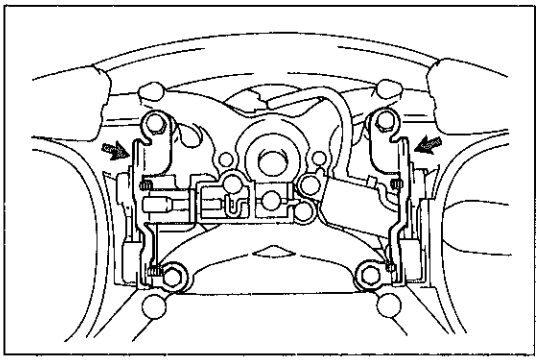
(3)　トルクスソケットレンチT30を使用して，ステアリングホイールセットボルト4個を取りはずす。

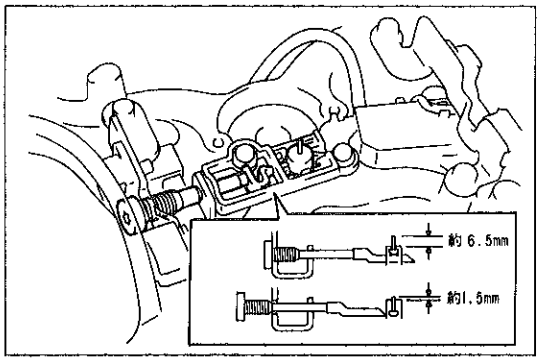
(4)　ステアリングホイールパッドを手前に引き出し，取りはずす。

9

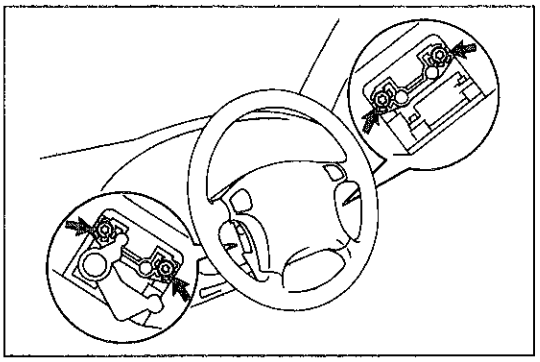
無断複製禁止

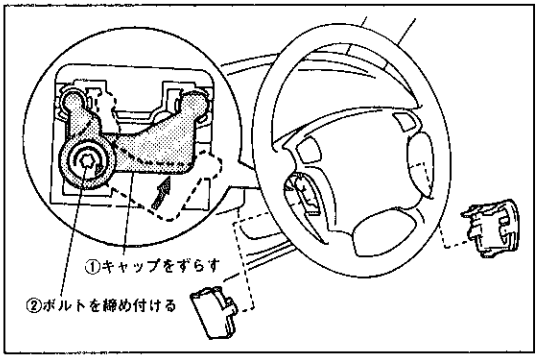

X0797


X0798



X0810


X0796



X0811

## ステアリングホイールパッド点検

### 1 ステアリングホイールパッド外観点検

注意 パッドの分解は絶対に行わない。

基 準 以下に記すような場合はパッドを新品と交換する

① エアバッグが展開した

② パッド面，エアバッグセンサーおよびインフレーターにへこみ，割れ，変形が見られる

③ パッドを落下した

## ステアリングホイール点検

### 1 ステアリングホイール外観点検

基 準 以下に記すような場合はステアリングホイールを新品と交換する

① ステアリングホイール金属ブラケット部が変形している

② 新品のパッドが無理なく取り付けることができない

### 2 センサーロック解除機構点検

(1) センサーロック解除ボルトをいっぱいまで締め込んだとき，センサーロック解除ピンが突き出し，空転するまで緩めたとき，ピンが引っ込むことを点検する。また，スムースに動くことを点検する。

## ステアリングホイールパッド取り付け

注意 • パッドASSYに損傷があったり，落下したものは新品と交換する。

• 他の車両のパッドは絶対に使用せず部品交換時は必ず新品を使用する。

### 1 ステアリングホイールパッド取り付け

(1) センサーロック解除ボルトが空転するまで緩んでいることを確認する。

(2) ステアリングホイールパッドをステアリングホイールにセットし，トルクスソケットレンチT30を使用して，ステアリングホイールセットボルト4本を締め付ける。

T＝75±22kg.cm

注意 ホーンボタンおよびオートドライブ用ワイヤハーネスをかみ込ませない。

(3) ボルトキャップをステアリングホイールセットボルトにカバーしてセンサーロック解除ボルトを締め付ける。

T＝75±22kg.cm

(4) ステアリングホイールロワーカバー2個を取り付ける。

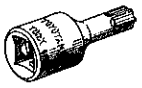
注意 カバーが確実に取り付いていることを確認する。

無断複製禁止

# エアバッグ（ステアリングホイールパッド）廃却

エアバックシステムの搭載された車両を廃車する場合またはステアリングホイールパッドを廃却する場合は，必ずステアリングホイールパッド単体で以下に記す手順に従ってエアバッグを展開させてから廃却してください。絶対に未展開の状態で廃車またはステアリングホイールパッドを廃却しないでください。

## 準　備　品

| | | |
|---|---|---|
| 工　具 |  09042-00010　トルクスソケットレンチT30 | ステアリングホイールパッド取りはずし用 |
| 油　脂<br>その他 | ボルト４本（首下長さ35mm以上，ピッチ1.0mm，呼び径6.0mm） | ステアリングホイールパッドつり下げ用 |
| | 紐11m以上（ひっかかりがなく切れにくいもの） | ステアリングホイールパッドつり下げ用<br>タイヤ固定用 |
| | タイヤ４本（タイヤ幅185mm，タイヤ内径14インチ程度） | エアバッグ展開用 |
| | ホイール付きタイヤ１本（タイヤ幅185mm，タイヤ内径14インチ程度） | エアバッグ展開用 |
| | コッターピン（95381-02525） | センサーロック解除用 |
| | ガムテープ | センサーロック解除用 |
| | 保護めがね | エアバッグ廃却用 |
| | 手袋 | エアバッグ廃却用 |
| | ビニール袋 | エアバッグ廃却用 |

## エアバッグ廃却時の注意

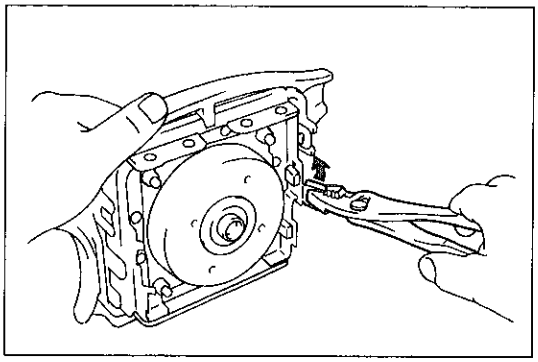
1　屋外で安全を確保できるコンクリート上の平坦な場所で行う。
2　ステアリングホイールパッドを保管する場合は，必ずパッド面を上にして置く。
3　センサーロック解除後は細心の注意をはらい，ステアリングホイールパッドを取り扱う。
4　エアバッグを展開させる場合は，必ず５m以上離れる。
5　展開したステアリングホイールパッド内インフレーターは高温になっているため，展開後30分は大気冷却しておく。絶対に水などをかけない。
6　展開したエアバックの取り扱いは，保護めがねおよび手袋を着用する。
7　展開したエアバッグはビニール袋に入れて密封し廃却する。
8　作業終了後，必ず手を洗う。



無断複製禁止

# ステアリングホイールパッド廃却

**注意**
- エアバッグの展開作業は必ず屋外で安全の確保できるコンクリート上の平坦な場所で行う。
- ステアリングホイールパッドを一時的にでも保管する場合は，必ずパッド面を上にして置く。
- センサーロック解除後は細心の注意をはらいステアリングホイールパッドを取り扱う。

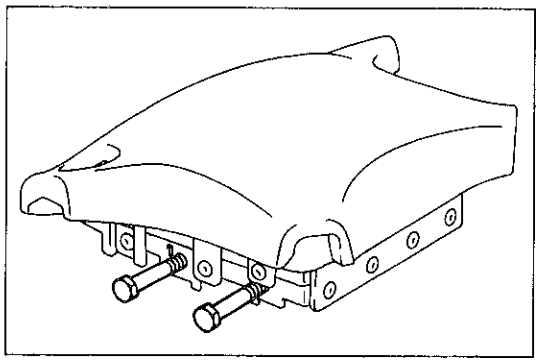

X0799

## 1　ステアリングホイールパッド取りはずし

(P9-3参照)

## 2　エアバッグ展開準備

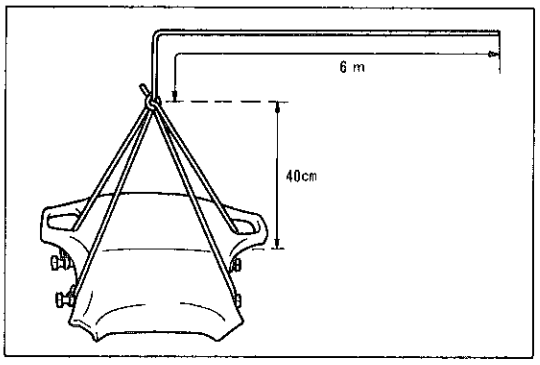
(1)　ステアリングホイールパッド裏面のブラケットを90°折り曲げる。


X0800

(2)　ステアリングホイールパッドの取り付け穴4個にボルトを10mm程度締め込む。

〈参考〉　ボルトの寸法

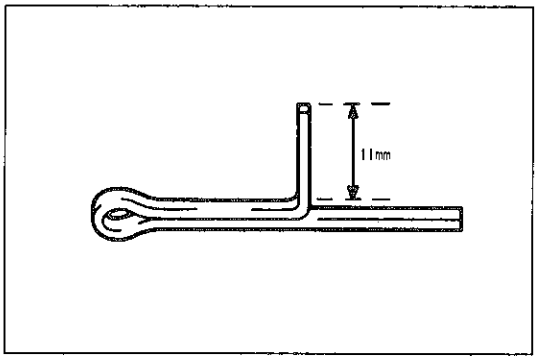
首下長さ35mm以上，ピッチ1.0mm，呼び径6.0mm



X0801

(3)　図に示すようにステアリングホイールパッドが水平に吊せるように紐を結ぶ。

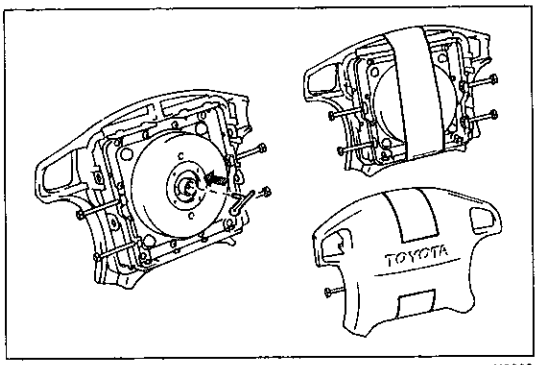
**注意**　上側の紐はホーンボタン穴を通す。



X0802

(4)　コッターピンを使用して，センサーロック解除用のピンを作成する。

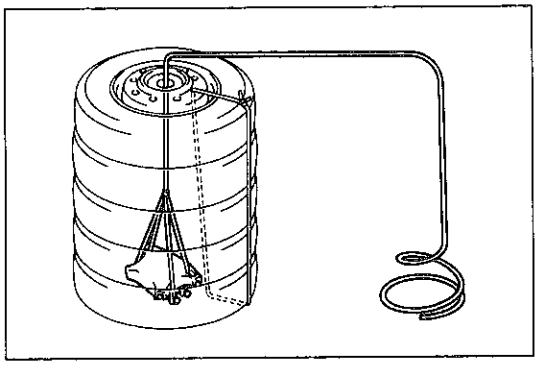
無断複製禁止



X0803

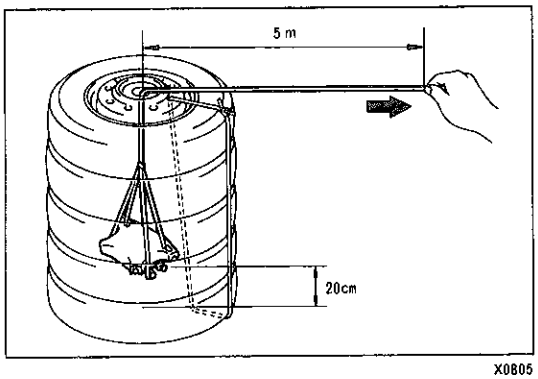
(5) センサーロック解除用のピンをエアバッグセンサーに差し込み，ガムテープで固定し，パッド面を上に向けて地面に静かに置く。

注意　センサーロック解除後は，高さ5cmからの落下でもエアバッグが作動し，パッドが飛び上がり非常に危険です。パッドの取り扱いには細心の注意をはらい，衝撃を与えたりしないでください。


X0804

(6) 図に示すようにタイヤ4本とホイール付きタイヤ1本でステアリングホイールパッドを囲い紐を通す。

注意　・ステアリングホイールパッドには絶対に衝撃を与えない。
・タイヤがずれないように紐で固定する。

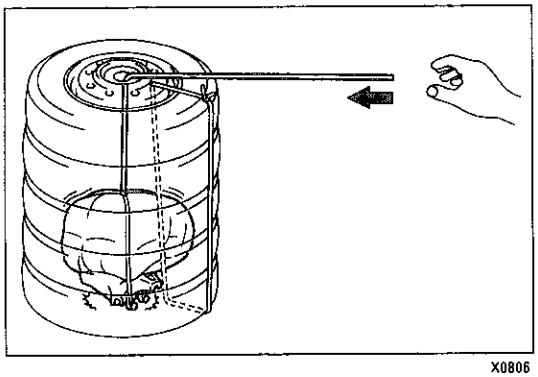


X0805

## 3　エアバッグ展開

(1) ステアリングホイールパッドから5m以上離れ，パッドを20cm程度引き上げる。

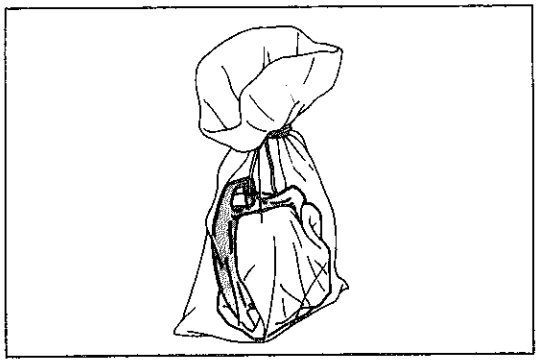
注意　引き上げ前に再度周囲の安全を確認する。


X0806

(2) 紐を離し，ステアリングホイールパッドに落下の衝撃を与え展開させる。

注意　・展開前に必ず大きな声で周囲に注意を促す。
・展開したステアリングホイールパッド内インフレーターは高温になっているため，展開後30分は大気冷却しておく。また絶対に水などをかけない。

センサーロック解除が不十分な場合やパッドが水平に吊されていない場合はエアバッグが展開しない場合があります。そのような場合は，パッドへの衝撃を避け再度最初からやり直してください。


X0807

## 4　エアバッグ廃却

(1) 展開したエアバッグはビニール袋に入れ密封して廃却する。

注意　・展開したエアバッグの取り扱い時は，保護めがねおよび手袋を着用する。
・作業終了後には，必ず手を洗う。

無断複製禁止

MEMO

無断複製禁止